

平成 28 年度第 2 回成田市男女共同参画計画推進懇話会会議 概要

1. 開催日時

平成 29 年 1 月 17 日（火）14：00～16：00

2. 開催場所

成田市花崎町 760 番地

成田市役所議会棟 3 階 執行部控室

3. 出席者

（委員）

宮田委員、宮田委員、一色委員、石渡委員、飯田委員、櫻井委員、福井委員、
小島委員、浅野委員、高田委員、菱木委員、神山委員、中條委員、浦壁委員

（事務局）

大木市民生活部長、椿市民協働課長、瀬尾市民協働課室長

多田市民協働課係長、原市民協働課主事

4. 議題

（1）第 2 次成田市男女共同参画計画の平成 27 年度事業実績について

（2）成田市女性活躍推進計画について

（3）その他

5. 議事(要旨)

- ・ 議題（1）第 2 次成田市男女共同参画計画の平成 27 年度事業実績について事務局から報告を行った。
- ・ 議題（2）成田市女性活躍推進計画【修正案】、成田市女性活躍推進計画（案）に係る意見照会について事務局から説明を行った。
- ・ 議題（3）成田市女性活躍推進計画の今後のスケジュールの説明を行った。
- ・ 議題（3）男女共同参画センターの利用制限解除について報告を行った。

6. 質疑等

主な質問・意見は以下のとおり

（1）第 2 次成田市男女共同参画計画の平成 27 年度事業実績について

委 員： 男女共同参画センターの利用率が低いのではないかと。

事務局： 他の施設から比較すると利用率は低いが、開館当時に比べると増加している。
今後広報活動を充実させ、より利用していただけるよう努めたい。

委 員： 男女共同参画センターは「男女共同参画」に関することと利用が限定されているため、利用率が低いのではないかと。枠組みがもっと柔軟にならないのか。

事務局： 検討させていただく。

委 員： 具体的な事例やイベントで男女共同参画の推進を行い、各課と連携を取るこ

とで男女共同参画の推進をし、センターの利用率をあげていただきたい。

事務局： 男女共同参画は家庭生活や社会生活のあらゆる場面に存在している。様々な観点からイベントを行うよう工夫をして参りたい。

委員： 商工課では毎年消費生活展を開催しており、連携の候補のひとつとして、今後男女共同参画センターで開催できるかなどを含めて検討させていただく。

委員： 男女共同参画センターの使用料が高いため利用率が低いのではないか。

事務局： 男女共同参画センターでは明確に使用料を徴収しており、受益者負担とさせていいただいている。

委員： 男女共同参画講座の講師報酬予算が足りないのではないか。

事務局： 研究課題とさせていただく。

(2)成田市女性活躍推進計画について

委員： 職員研修事業の充実について。外部研修への派遣も方針に入っているのか。

事務局： 今のところは内部で行う研修を考えている。

委員： 第1章 計画の基本的な考え方にある計画策定の趣旨は丁寧に説明されている部分が、施策の方向性5の現状では、同じような説明が省略されているように感じる。この部分を丁寧な言い回しにできないのか。

事務局： 丁寧な言い回しになるよう検討させていただく。

委員： 第2章 施策の内容の施策の方向性5 市による先導的な男女共同参画の推進 ④成果指標の目標値にある「程度」という表記は不適切ではないか。

事務局： この部分に関しては成田市特定事業主行動計画でも国の指標に合わせて「程度」と表記しているため、この表記を採用している。事業主行動計画との絡みもあることから次回に向けて検討課題のひとつとさせていただく。

委員： ワーク・ライフ・バランスを実現するためには市の事業だけでは難しいのではないか。良好な人間関係を築く取り組みを行ってほしい。

委員： 市の「ファミリー・サポート・センター事業」は良い取り組みであると考え。現在のファミリー・サポート・センターの会員数を伺いたい。

委員： 27年度実績では、利用会員、協力会員、両方会員の合計は263名。前年度は156名。以前は会費を徴収していたが、それを廃止することで会員数が増加した。

委員： 市民協働課が社会教育団体同士の連携や交流の支援を行えないか。

事務局： 検討させていただく。

7. 傍聴

2名

8. 次回開催日時（予定）

未定